

実践的な演習環境で適切な初動対応を習得

実践！サイバーセキュリティ演習 —インシデントレスポンス編—（2日間）

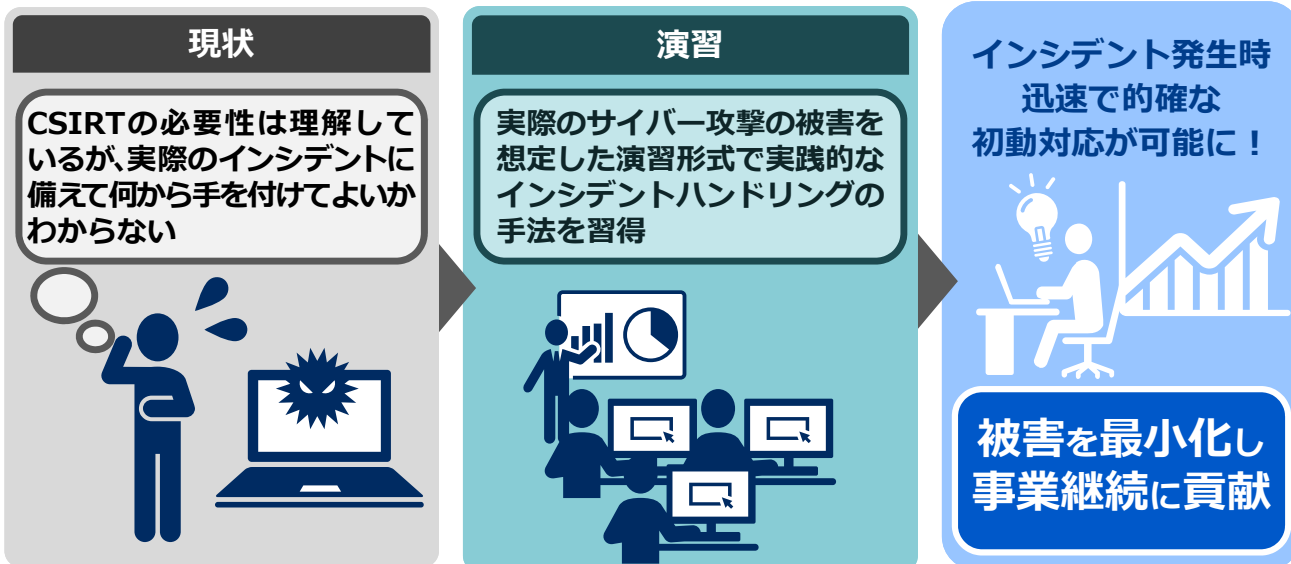
マシン
実習



近年、件数の急増とともに手口も狡猾になっているサイバー攻撃。いつその被害を受けてもおかしくありません。社内の端末から未知のマルウェアが発見された。その時、あなたはどの行動しますか？

本演習では実際のサイバー攻撃(標的型攻撃)の事例に沿ったシナリオで、サイバー攻撃を受けた際の初動対応から報告書の作成まで、インシデントハンドリングの一連の手法を習得します。

演習を中心としたコース内容で、効果的に能力を向上します



- 1 実環境に基づいた演習環境で臨場感あふれるインシデントハンドリング体験が可能
- 2 大規模な組織にも対応したシナリオで、解析だけでなく関係機関への報告などの一連のプロセスも習得
- 3 総務省／情報通信研究機構(NICT)の「実践的サイバー防御演習(CYDER)」に採用されたプログラム

※2015年9月～2019年1月までに受講された方への全体の満足度に対するアンケートの回答で、5段階評価で5点または4点を付けた人の割合

お申し込みはコチラ

NECマネジメントパートナーラーニング事業サイト
<https://www.neclearning.jp/>

コースコード「SN316」で検索



実践！サイバーセキュリティ演習－インシデントレスポンス編－（2日間）

本演習では、ある組織のシステム管理者の立場で、インシデント対応をおこないます。インシデントの検知から始まり、被害状況の確認、ログ分析や問題個所の特定、上司への報告など、一連のプロセスを体験します。

講義



- インシデントハンドリングの流れや留意点を学びます。
- 標的型攻撃の事例や攻撃手法を学びます。

実習



- 実践的なシナリオでインシデントの発生から、事態の収束までを実習します。
- さまざまなツールを使用してインシデントレスポンスの手法を習得します。

グループワーク



- チームごとに報告書を作成・発表し、課題や再発防止策についてディスカッションを行います。

コース概要

コースコード	SN316
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントハンドリングの手法を学び、自組織がサイバー攻撃を受けた際に、適切に行動できる。 ・ CSIRTの必要性や業務概要、要求されるスキル等を説明できる。 ・ 最新のサイバー攻撃の動向や事例について説明できる。
会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝浦研修センター ・ 東京都港区芝浦3-18-21（第二吾妻ビル）
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム管理者 ・ CSIRT担当者 ・ インシデントレスポンス担当者
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のいずれかのコースを修了、または同等知識をお持ちの方。 「インターネットセキュリティ技術」 「インターネットセキュリティ技術(実習編)」
受講料(税込)	216,000円

コース内容

1日目	<ol style="list-style-type: none"> 1.標的型攻撃（講義） <ul style="list-style-type: none"> ・ 標的型攻撃とは ・ 事例紹介 ・ 攻撃手法 2.インシデントハンドリング（講義） <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントハンドリングとは ・ 検知フェーズ ・ 初動フェーズ ・ インシデントレスポンスフェーズ 3.実習オリエンテーション（講義） <ul style="list-style-type: none"> ・ シナリオ説明 ・ 実習環境説明 ・ ツール説明 4.インシデントハンドリング実習（グループワーク、マシン実習） <ul style="list-style-type: none"> ・ 検知 ・ 報告、問題個所の特定 ・ 隔離、ログ分析等 ・ 被害状況の確認、フォレンジック等
2日目	<ol style="list-style-type: none"> 5.インシデント報告書作成（グループワーク） <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント概要 ・ 再発防止策の検討 ・ 対応の見直し

受講者の声

インシデント対応について、技術的な部分と人的対応の部分についてバランスよく盛り込まれており、参考になった。

普段の業務の中ではあまり体験することのない作業を短期集中的に疑似体験することができ、とても勉強になった。

システム管理者という責任ある立場で様々な業務を一通り取り扱う責任の重さを感じることができた。

お申し込みはコチラ

NEC 実践 サイバー演習 <https://www.neclearning.jp/> ◆コースコード SN316

一社向け個別開催も提供可能です。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせは、下記へ

人材開発サービス事業部 ラーニンググループ

URL: <https://www.neclearning.jp/> E-mail: nwg@educ.jp.nec.com

研修申込センター

E-mail: contact@learning.jp.nec.com TEL: 03(4330)7560 FAX: 03(4330)7550

- 本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本資料では、TMやRは明記していません。

